

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして



発達障がいをもっと理解するの？

中日新聞のサンデー版に発達障がいの特集があり、その中に当事者の言葉がありました。この記事、妙に納得してしまいました。

ぼくは自分のことを選択的発達者と呼んでいます。他の多くのひとは平均的発達者。世の中はつねに多数派の価値観が優先されるので選択的発達者はいくらでも苦労を強いられます。

たとえば学校では生徒たちはすべての教科において一定以上の成績を上げることが期待されます。選択的発達者であるぼくは語学は得意なのですが、理数系と暗記系はひじょうに苦手です。なのでこういった能力が重要になってくる中学二年の頃には、学年で後から五番とか、そのべらうまで成績が落ち込みました。

また生徒たちはほとんど元気で朗げや暗記系のレベルはぐんと下がります。ぼくが基準なんだから、語学のレベルはかなり引き上げられます。多くの生徒は数学や社会の点数は上がりますが英語や国語では落第点を取ることがになります。

ぼくのような人間がマジリティーになれば、彼らは選択的発達者ということになりません。みんなどうにも元気がなくて、声が小さくて無口で、活力に欠けた生徒とみなされます。でも、ぼくの国では彼らを「障害者」とは呼びません。と、この国でも早くから

1962年生まれ、作家として活動している。代表作として『1962年』がある。

発達障害だからできたこと
市川拓司

あるような生徒(ぼくのことです)は問題ありとみなされます。

では逆にぼくのような人間が平均的基準とならなければ、理数系は相対的なもの見方をするからです。多様性が当たり前。当然差別の概念もありません。集団への帰属意識が極めて薄いことが理由なのかもしれません。

真の意味での個人主義。同調圧力はナセンスであり排他主義者の言葉はチンプンカンプン。ヒエラルキーは存在せず女性は男性から崇拜されています。嘘つきはおらず、争いを極度に恐れかつ集団行動が苦手なので軍隊も存在しません。整理させる必要はからみんなどかへ行ってしまいます。すごく変な国です。でも、とても平和です。

(小説家)

福祉サービス事業所ピーススタッフ

サービス管理責任者

荻輪由美子

発達障がいと言われる方が、この世の中で生きていく為には、多数派の平均的発達者(いわゆる普通と言われている人)に合わせようとしてしまっている人がいます。さらに、自分勝手に解釈して行動してしまうこともあります。もっとひどいときには、間違った療育や教育を受けることによりストレスが増してトラブルになってしまいます。それが積み重なると問題児(者)扱い。でもここで言う選択的発達者(者)たちが本来持っている、私たち凡人とは比較にならないほどの素晴らしい素質(平和主義で欲深くなく、素直でお人好し等々)を十分活かせる場所では、人々が尊重しあっている。人たちが共生し合える社会になれば、世界中が今よりもっともっと平和になるのではないかなあと思っています。

そついでいえば、ピースの中もいつも争いもなく平和です！



障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

あんきなコンサート【H29年11月26日】



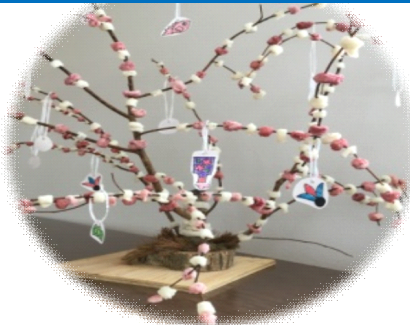
今年は「おどるポンポコリン」「YMCA」を踊りました！
毎年、ピースらしさを前面に全力でパフォーマンスしてます！



ピースの活動紹介

もちつき大会

【H29年12月27日】



地域の皆様にご協力いただき、もちつきしました。ついたおもちは花餅にしたり、しょうゆやきな粉を付けてたくさん食べました。地域の皆様と交流できる貴重な体験をさせて頂きました。

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

クリスマス会

【H29年12月22日】



みんなでリース作り、ビンゴゲーム、カラオケ大会で大盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。自分たちでおにぎり作りもして、手作り感満載のクリスマス会になりました！

新成人式を祝う会

【H30年1月19日】



今年めでたく成人になったYさんをピースの仲間達と一緒に祝いしました。和やかな雰囲気の中でYさんもたくさんの笑顔を見せてくれました。



【 寄付お礼 (団体のみ掲載) 】

瑞岸寺 益世会 様	79,295円
表千家流茶道 神岡 和敬会 様	71,325円
歳末たすけあい募金激励金	60,000円

ありがとうございました

皆様からのご厚志は、送迎車ノアのスタットレスタイヤ購入と、ここで紹介したピースで行った行事の活動資金として活用させていただきました。

個人の皆様からも、たくさんの御寄付、また、各団体様・小中学校様からもカレンダー、白タオル、アルミ缶、インクカートリッジ、ベルマーク、テトラパック等をいただきました。皆様の温かいお気持ちに感謝申し上げます。

ピース はたものがたり

私たち「支える会」では、二つの畑を持っています。一つは事業所前の畑、もう一つは、「ありがとうファーム」とから借りている畑です。その願いは、利用される方々が

- ①外に出て動くきっかけになること
- ②道具などを使って体を動かすこと
- ③好きな野菜を育てて、食べることです

今回は、事業所前の畑についてお伝えします。建物が保育園だった時花壇でした。事業所になり、野菜畑として使っています。ジャガイモ、トウモロコシ、ミニトマト、にんじん、大根、サツマイモを育てています。とれた野菜は、水曜日の給食に使ったり、おやつに出したりしています。利用者の方には、機に応じてできる作業をしていただいています。耕つん機を使って土おこし・種まき・苗植え、収穫等の作業です。全員の方が作業をされているわけではありませんが、様子をみてタイミングよく声をかけ作業を楽しんでもらうことを心がけています。



耕つん機で土おこし

「はたものがたり」は、これから連載します。季節の畑だよりをお楽しみください。

スタンディングダンス

こんにちは。福祉サービス事業所ピースでスタッフをさせて頂いている石原です。今回は秋に開催されるあんきなコンサート（コンサ）の取り組みについて紹介させていただきます。

三年目の今回は、利用者さんが受け身ではなく主体的に参加して頂くこと、楽しく参加してもらうことを大切にしました。曲選び、振り付け、衣装や小物選びまで、全部を利用者さんの好きな物を聞いたり、意見を出してもらいました。又、初めての方が不安にならないよう、当日の場所や内容が練習と結びついて見通しが持てるように、練習のたびに声掛けをするなど配慮しました。当日参加されない方も練習と一緒に加わってもらい楽しい雰囲気作りを心掛け取り組みました。

あんきなコンサートを見に来てくださった親御さんから翌日こんな話を聞かせていただきました。「ピースを利用する前、親は、ハードルをあげすぎて、あつちになぶつかりこつちになぶつかり落ちるところまで落ちた利用だった。子の良いところなんて見えなかった。でもピースへ来てそれではダメなんだとわかった。良いところが見られるようになってきた。会場で以前にお世話になった方に堂々と『ピースに毎日通っています』と話す我が子を見られた。ステージでは、その子

その子らしく楽しんでいるのがよくわかった。ピースの紹介コメント【私たちが運営するピースでは、本人の思い、家族の願いを大切にしながらピースでの過ごし方が、一人一人に合ったものと考えています。誰にとっても居心地の良い環境の中で、作業する人、横になり休む人、趣味やおしゃべりを楽しむ人など、いろいろな過ごし方をしながら、ゆったりとした時間の中で自分の居場所を作っています。今日の曲は利用者さんが選んでくれました。今日は、一緒にステージに立ってませんが、踊りの練習に参加してくれたら、道具づくりをしてくれた利用者さんの分まで元気に楽しく踊ります。】は、そのままだと思った。一人一人に寄り添って育ててもらっていること、生かしてもらっていることを感じる事ができ、本当にありがたいと思っています。」

親の我が子に対する深い気持ちを感じていただきた私もまた心を揺さぶられました。そして日中一時支援というピース事業所の大切な役割を教えていただけだと思っています。私は、「こが好きです。失敗も多い毎日ですが、ピースで利用者さんと一喜一憂しながら、あつ、今通じ合えたと思える瞬間が一番うれしいです。」

ようやく利用者さんと信頼関係が作れてきたかなあと思う今日この頃です。

福祉サービス事業所ピーススタッフ

石原 恵子